

# 落とし込み排煙窓取扱い説明書



商品取扱いマニュアル NOB-02

第2版

## 目 次

各部の名称	P.1
使用上の注意とお願い	P.5
操作方法	P.6
調整方法	P.8
Q&A集	P.9
対処方法	P.10

- ◆ 下記、付属金物を別梱包にて納品させていただきます。  
御確認をお願いします。

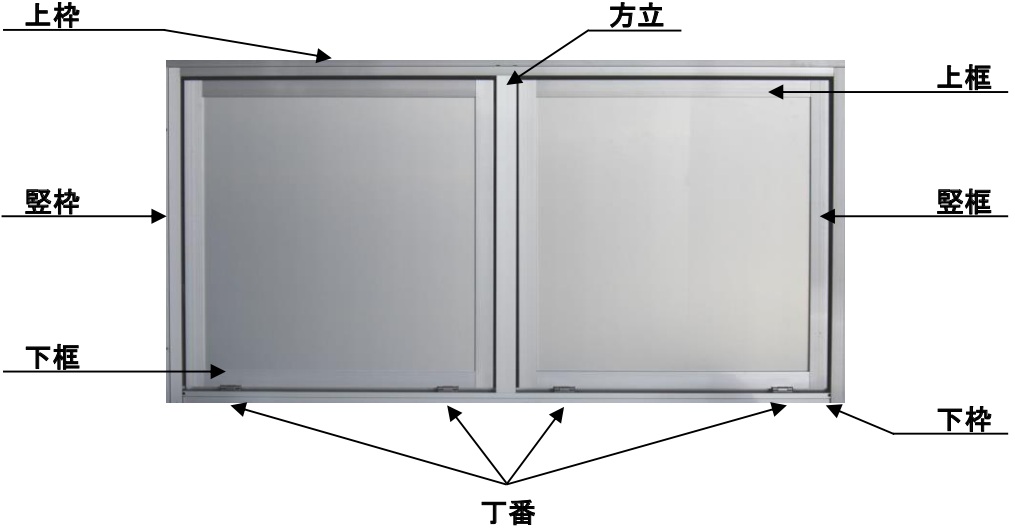
※ 付属金物明細

フック棒(セット数に応じて対応) 1型のみ	1本
-----------------------	----

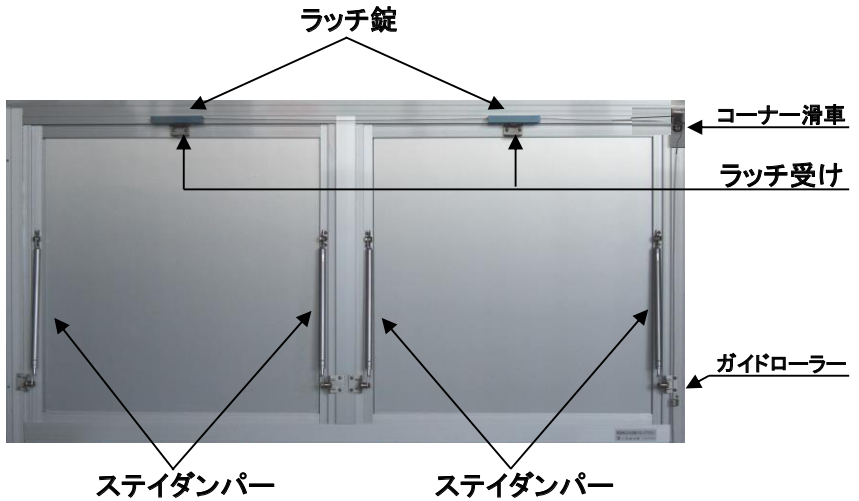
# 各部の名称

## 外倒し窓1型

【外観写真】



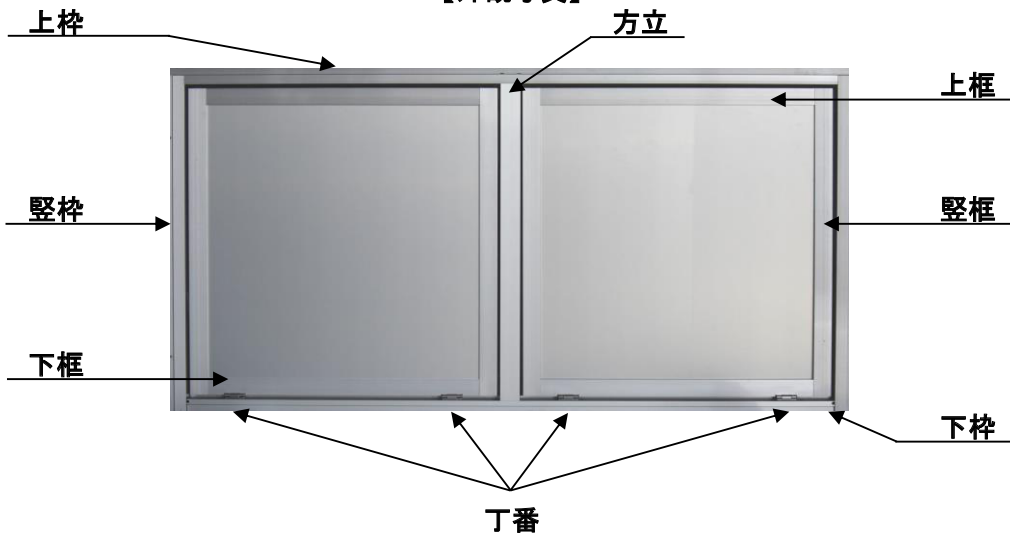
【内観写真】



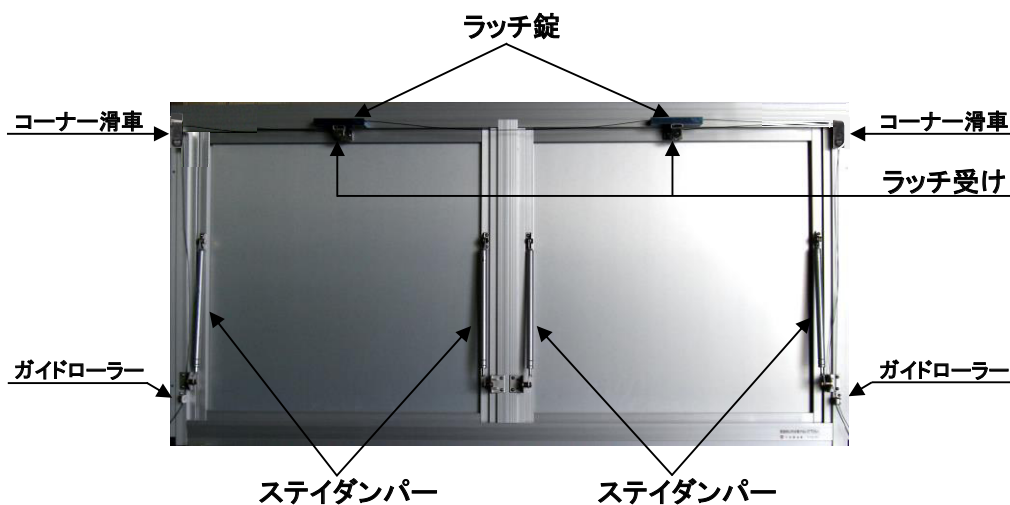
# 各部の名称

## 外倒し窓2型

【外観写真】



【内観写真】

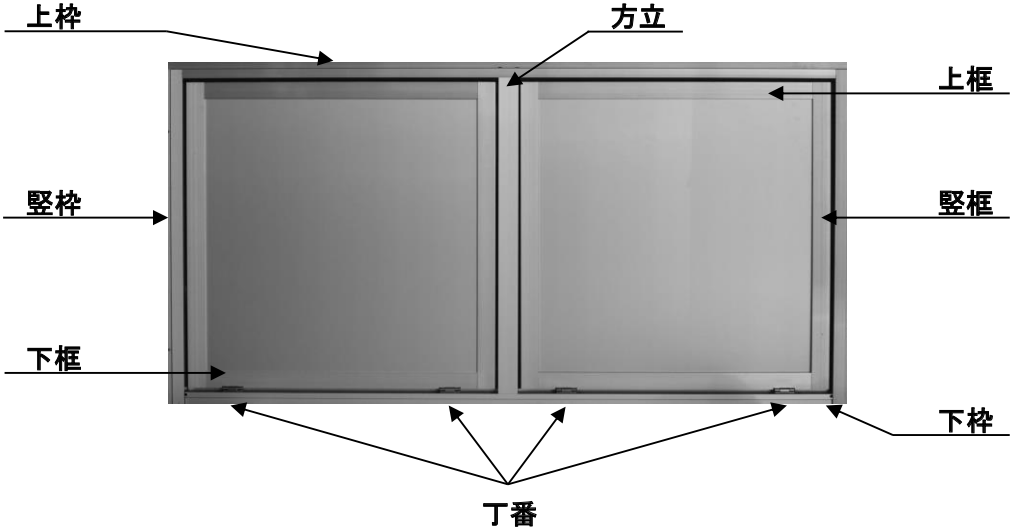


# 各部の名称

外倒し窓3型(オペレーター仕様)

※オペレーター工事は別途です。

【外観写真】



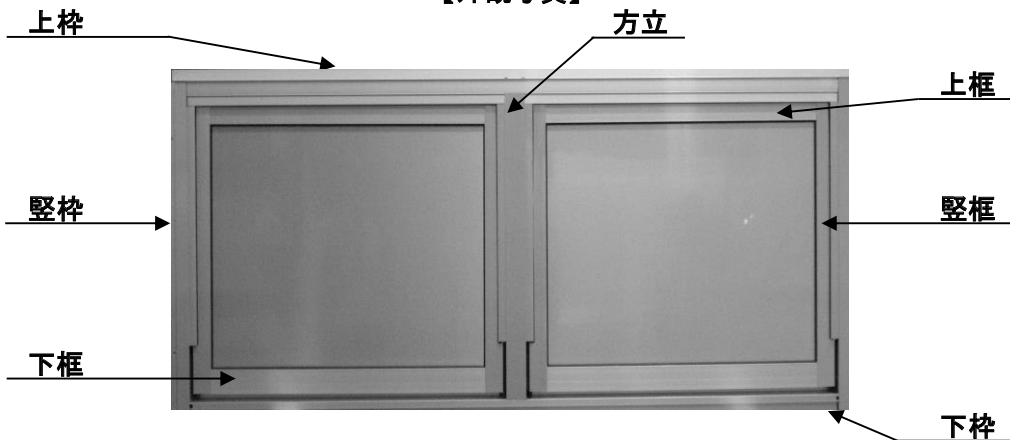
【内観写真】



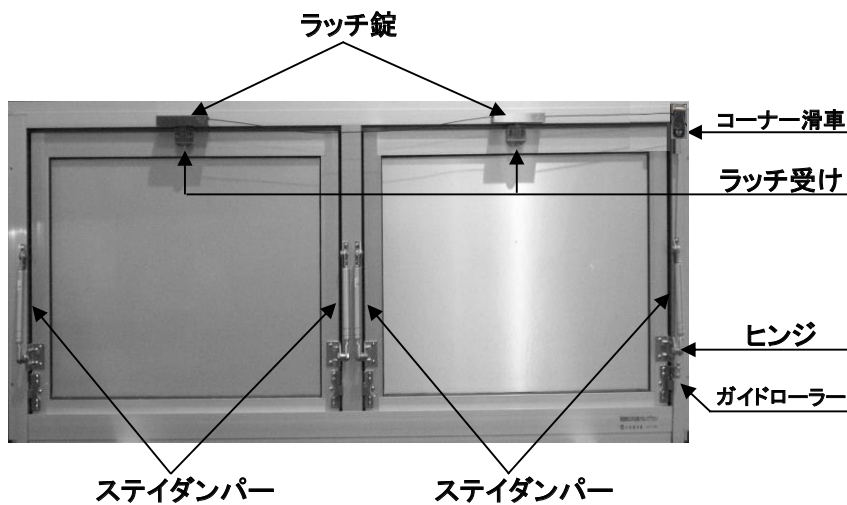
# 各部の名称

内倒し窓

【外観写真】



【内観写真】



# ご使用上の注意とお願い

## ご使用いただく時のチェックポイント

- この窓は、火災等非常時用の排煙窓ですので日常の換気に使用しないで下さい。
- 閉める時は、ラッチが確実に掛っている事を確認して下さい。
- 調整時、指を詰めない様ご注意ください。

## ケガの防止

- ガラス面を押して窓を閉めないで下さい、ガラスが破損する恐れがあります。
- 風の強い時は、窓を閉めて下さい。

## 破損・故障の防止

- 開閉の操作は、ゆっくりと行なって下さい。
- フック棒を使用する場合も同様に閉じる時は、ゆっくり行なって下さい。

## メンテナンス

- 非常時の機能確認の為、1ヶ月に1度程度は窓の開閉テストを行なって下さい。

# 操作方法

■建て込み終了後、引手フックを取付して下さい。



引手フックを壁、若しくは柱に写真の様にビス止めして下さい。

■開ける場合

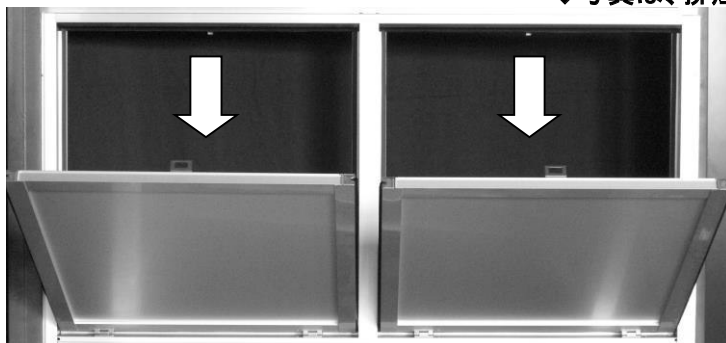


障子を開ける時は、フックから引手を取り出し真下へ引きます。

※2連窓の場合は、障子が2ヶ所共同時に開きます。

正面写真

◆写真は、排煙外倒し窓





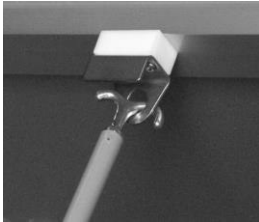
# 操作方法

## ■閉める場合 1型の場合

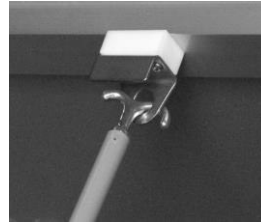
### (フック棒の使用)

障子を閉める時は、上框のラッチ受け又はフック受けの孔にフック棒を掛けて閉めて下さい。

外倒し窓

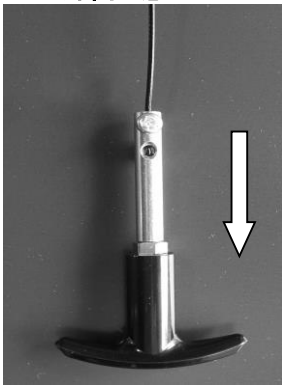


内倒し窓



## ■閉める場合 2型の場合

### 外倒し窓のみ



閉用ワイヤーを引いて下さい。  
閉用ワイヤーは、障子1枚に付1つとなります。

## ■3型オペレーター仕様の場合

オペレーター仕様の場合は、オペレーター工事が伴いますので、当社の製品は加工のみで出荷致します。(オイレス社用の加工)

尚、オペレーター工事に付きましては オペレーター工事会社又は当社までご相談下さい。

# 調整方法

◆開閉状態が、悪い場合は下記の手順にて調整を行って下さい。

## 【排煙外倒し・内倒し共通】

### ① ラッチ受けによる調整



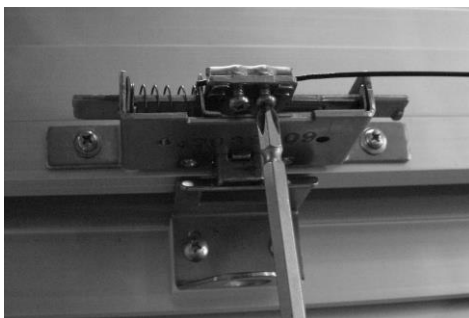
ラッチと受け金物の掛りを  
ルーズ穴に沿って調整します。

### ② ラッチによる調整



ラッチカバーをはずし、本体の  
位置を調整します。

### ③ ワイヤーによる調整



ワイヤーの弛みを調整します。

# Q&A集

現象	考えられる原因	対処方法
正常に開閉が しなかった場合	ラッチ受けの掛りが悪い為	対処方法①を 参照下さい
	ワイヤーの張り具合が悪い為	対処方法②を 参照下さい

# 対処方法

## 対処方法①

開いた状態でラッチ受けの掛りを調整します。(出荷時は調整済)

### ■外倒しの場合



ラッチ受け金物の掛りをルーズ穴に沿って調整します。

開かない場合は、ラッチ受けを下げます。

閉らない場合は、ラッチ受けを上げます。

### ■内倒しの場合



ラッチ受け金物の掛りをルーズ穴に沿って調整します。

開かない場合は、ラッチ受けを下げます。

閉らない場合は、ラッチ受けを上げます。

# 対処方法

## 対処方法②

ワイヤーの張り具合を調整します。(出荷時は調整済)

### 手順①

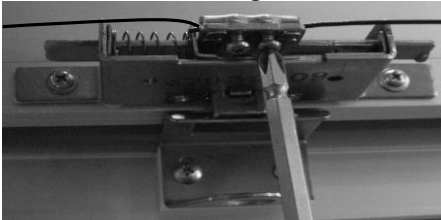


内部から見て右側  
(開用ワイヤーBOXのある方)のラッチ  
カバーをはずす。

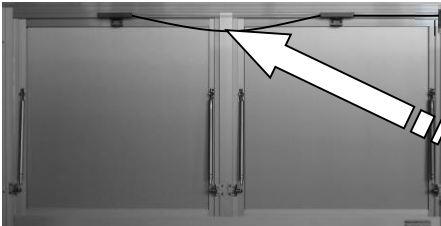


カバーを外した状態

### 手順②



ビスを緩めてワイヤーの張り具合を  
調整します。



(ワイヤーは、強く張っている場合は  
開閉に支障を及ぼしますので、  
やや緩めで調整します。)

# 対処方法

## 対処方法② 続き

### 手順③



開ワイヤーを引っ張り左右のラッチが正常に動いている事を確認します。







サッシで刷新 サッシは信田屋

株式会社 信田屋

美原営業所/〒587-0011 大阪府堺市美原区丹上410 TEL 072-361-5460  
FAX 072-362-0533  
<http://www.nobutaya.co.jp>